

MIYAGI UNIVERSITY

平成31年度

科目等履修生募集要項

- ◎ 看護学群
- ◎ 事業構想学群
- ◎ 食産業学群
- 大学院看護学研究科
- 大学院事業構想学研究科
- 大学院食産業学研究科



宮 城 大 学

I 学群・大学院別事項

※本学は、平成29年4月入学者より学部・学科制から学群・学類制に改組しましたが、平成31年度までは引き続き学部・学科のカリキュラムも開講されます。

この要項では、学群・学部をまとめて「学群」と表記します。

出願資格

【学群分（看護学群、事業構想学群、食産業学群共通事項）】

次のいずれかに該当する方とします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した方
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定がある方
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方
- (5) 専修学校の高等課程（文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (6) 文部科学大臣の指定した方（昭和23年5月31日文科省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規定による大学入学資格検定に合格した方を含む。）
- (8) 本学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

【大学院分（看護学研究科、事業構想学研究科、食産業学研究科共通事項）】

はじめに

- 1) 宮城大学大学院研究科（博士前期課程）に進学を希望する方は、入学に先行して科目等履修生として大学院研究科の開講科目を履修し、単位を修得すると、その単位を本学大学院研究科入学後の修了要件単位数に換算することができます（10単位まで）。
- 2) 宮城大学大学院研究科（博士前期課程）に進学を希望しない方でも、より専門的な学習を深めたい方は、科目等履修生として大学院研究科の開講科目を履修することができます。
- 3) 1) または2) いずれの場合も、下記の「出願資格」を満たす方が対象となります。

次のいずれかに該当する方とします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学（以下単に「大学」という。）を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって⑤に規定する文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した方
- (8) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第6号の規定により文部科学大臣が指定した方

- (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において個別の入学資格審査により、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、22歳に達した方

※上記の(9)又は(10)により出願しようとする方は、入学資格審査が必要となります。詳細については、お問い合わせください。

- ・入学資格審査基準及び審査申請に必要な書類の詳細は5～7ページをご覧ください。
- ・入学資格審査申請期限：【前期】平成31年1月30日（水）
【後期】平成31年6月17日（月）
- ・問い合わせ先：宮城大学事務局教務第1グループ 022-377-8318

II 共通事項

1 募集人員

各科目若干名

2 出願スケジュール

	前期	後期
入学資格審査 申請受付期間	平成31年1月21日（月）～ 平成31年1月30日（水）	平成31年6月10日（月）～ 平成31年6月17日（月）
入学資格審査 結果通知送付	平成31年2月8日（金）以降	平成31年7月5日（金）以降
出願期間 （必着）	平成31年2月12日（火）～ 平成31年2月22日（金）	平成31年7月16日（火）～ 平成31年7月26日（金）
選考結果通知	平成31年3月15日（金）以降	平成31年8月20日（火）以降
入学手続き 期間	平成31年3月18日（月）～ 平成31年3月25日（月）	平成31年8月26日（月）～ 平成31年9月6日（水）
履修期間（予定） ※科目により初回 講義日は異なります	平成31年4月8日（月）～ 平成31年8月6日（火）	平成31年9月20日（金）～ 平成32年1月31日（金）

※前期科目および後期科目の両方の履修を希望する方は、前期に一括出願してください。

3 出願手続

(1) 次のA～Iの書類をまとめて出願してください。

A：科目等履修生入学志願票（様式1-1）

B：振込金（兼手数料）受取書（振込依頼書）（様式1-2）

出願期間内に本書で入学者選抜手数料9,800円を振込み後、振込金（兼手数料）受取書（本人保管用として、金融機関から渡されたもの）を出願書類として様式1-1裏面の所定欄に貼ってください。

C：身上調書（様式2）

D：自己申告書（様式3）

E：最終学歴校の調査書又は成績証明書

F：最終学歴校の卒業（修了）証明書

G：写真（縦4.5cm×横3.5cm上半身正面無帽、カラー、背景なし）1枚
（志願票に貼り付けて提出してください。）

H：住民票（外国人のみ提出、コピーは不可）

※出願時点において既に在留カードが交付されている方は、市区町村が発行する住民票（国籍・在留資格が記載されたもの）を提出してください。在留カードの交付を受けていない方は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。

I：承諾書（様式4、該当者のみ提出）

他の大学等に在学している方は、学校長の承諾書を提出してください。

(2) 出願は、「書留速達」による郵送としてください。

(3) 上記の期間を過ぎての出願は受理できませんので、出願期間に注意してください。

(4) 出願書類の特例

継続履修の場合、最終学籍校の成績証明書及び卒業（修了）証明書については、コピーでの提出も可能です。

(5) 出願先

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1（大和キャンパス）

宮城大学事務局教務第1グループ 宛て

(6) 出願上の注意事項

出願書類がすべてそろっていない場合は、受理できませんので、出願の際には十分確認してください。なお、一度受理した出願書類、入学者選抜手数料は返還しません。

(7) 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。

4 在学期間

在学期間は平成30年4月（又は10月）から6ヵ月又は1年です。（履修科目による）

※在学期間の延長※

引き続きの在学（継続履修）を希望する場合、出願を行い、履修希望科目の開講学群・研究科において認められると、1年以内に限り在学期間を延長することができます。この場合の出願において、入学選抜手数料の納付は不要です。

5 選抜方法

科目等履修生の選考は書類審査、面接等により実施します。面接を実施する場合は、別途ご連絡いたします。

開講科目ごとの選抜方法については、別紙「平成31年度科目等履修生開講科目一覧表」を参照願います。

6 選考結果

郵送により志願者全員に発送します。選考結果に関する電話等での問い合わせには応じることができませんので、ご了承ください。

7 入学手続

選考結果通知の際に送付する必要書類等を、郵送又は持参により提出してください。

- ① 入学手続に必要な書類（入学金にかかる振込依頼書等）は、選考結果通知の際、本人あてに郵送します。
- ② 郵送の場合は、必ず「書留速達」としてください。入学手続期間最終日必着とします。
- ③ 直接持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。（土曜日・日曜日・祝日は受付を行いません。）
- ④ 必要な書類がすべてそろっていない場合には、受理できませんので、書類提出の際には十分確認してください。
- ⑤ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受理できません。なお、期間内に所定の手続きを行わなかった場合、科目等履修生としての入学を辞退したものととして取り扱わせていただきます。
- ⑥ 一度受理した書類および入学金等は、返還しません。
- ⑦ 入学手続先、場所は選考結果通知の際に連絡します。

8 入学金及び授業料

種 類		金 額	納 入 時 期 等	※1 入学金について、県内者とは次に該当する方をいいます。 本人又はその親族（配偶者又は一親等の直系尊属に限る。）が本人の入学許可の日前1年間引き続き県内に住所を有する場合 ※2 上記以外に、科目により諸経費が必要となる場合があります。
入学金	県内者	28,200円	入学時	
	県外者	56,400円	入学時	
授業料		14,800円 (1単位当り)	【前期】4月末日 【後期】10月末日	

9 履修科目

履修科目は別紙「平成31年度科目等履修生開講科目一覧表」のとおりです。履修科目数に上限はありませんが、時間帯によって履修可能科目が限定（重複）されることがありますので、予め了解願います。

10 単位認定

単位は、個々の科目について所定の時間を履修し、試験その他の方法により合格と判定されたときに認定します。授業科目、時間数、単位数は本学学群及び大学院の履修規程に定めるところによります。

11 その他

公共交通機関又は自転車・バイク等により通学してください。

自家用車による通学を希望される方は、入学手続きとあわせて申請してください。

【大和キャンパス】

- ・「仙台駅」バスプール2番のりばから、宮城交通バス「宮城大学」行き直通バスにて、「宮城大学・保健福祉専門学校前」下車 所要時間約50分 片道690円
- ・地下鉄「泉中央駅」バスプール3番のりばから、宮城交通バス「宮城大学前経由「泉パークタウン車庫行」」にて、「宮城大学・保健福祉専門学校前」下車 所要時間約30～35分 片道410円

【太白キャンパス】

- ・「仙台駅」バスプール7番のりばから、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きにて、「宮城大学食産業学部前」下車 所要時間約40分 片道500円
- ・「JR 長町駅」東口バスプール3番のりばから、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きにて、「宮城大学食産業学部前」下車 所要時間約25分 片道340円
- ・地下鉄「長町南駅」バスプール4番のりばから、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きにて、「宮城大学食産業学部前」下車 所要時間約20分 片道340円

【入学資格審査基準】

（１）宮城大学大学院看護学研究科

区 分	対 象	審 査 基 準
出願資格（９）		英語学力が、英検準１級、TOEIC５５０点以上、TOEFL ペーパーベーステスト５００点以上又はインターネットベーステスト６１点以上の実力を有すること。
本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学に３年以上在学し（入学時までに在学見込みを含む。）、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方	４年制大学３年次在学者又は過年度に４年制大学３年次を修了している方	〔３年次在学者〕 次のいずれにも該当すること。 ① 大学２年次修了時点で、卒業必要単位数の１／２以上を修得し、その評価について最上位（１００点満点換算で８０点以上）であるものが８割以上であること。 ② 大学３年次修了時点で、卒業必要単位数の３／４以上を修得見込みであること。
		〔過年度に３年次を修了している者〕 大学３年次修了時点で、卒業必要単位数の３／４以上を修得し、その評価について最上位（１００点満点換算で８０点以上）であるものが８割以上であること。
		〔１５年の課程修了者〕 １５年の課程修了時点で、１６年の課程修了に必要な単位数の３／４以上を修得し、その評価について最上位（１００点満点換算で８０点以上）であるものが８割以上であること。
		〔１５年の課程修了見込者〕 次のいずれにも該当すること。 ① １４年の課程修了時点で、１６年の課程修了に必要な単位数の１／２以上を修得し、その評価について、最上位（１００点満点換算で８０点以上）であるものが、８割以上であること。 ② １５年の課程修了時点で、１６年の課程修了に必要な単位数の３／４以上を修得見込みであること。
本学大学院において、個別の入学資格審査により、外国において学校教育における１５年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（いずれも入学時までに修了見込み含む。）であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めた方	外国の学校教育制度に基づく高等教育機関（大学等）の在学者（通信教育による課程の履修者を含む。）で、当該国における学校教育の１６年の課程のうち１５年の課程を修了した者（入学時までに修了見込みの者を含む。）	〔１５年の課程修了者〕 １５年の課程修了に必要な単位として修得した単位の評価について、最上位（１００点満点換算で８０点以上）であるものが、８割以上であること。
		〔１５年の課程修了見込者〕 １４年の課程修了時点で、１５年の課程修了に必要な単位の３／４以上を修得し、その評価について最上位（１００点満点換算で８０点以上）であるものが８割以上であること。
出願資格（１０） 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、入学時までに２２歳に達した方	出願資格（１）～（９）以外の方	〔資格保有者〕 次の①、②いずれにも該当すること。 ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等を卒業していること。 ② 看護師、保健師、助産師のうち１つ以上の資格を有していること。 なお、次の③～⑤に該当する場合は、審査にあたりこれを考慮する。 ③ 英語学力が、英検準１級、TOEIC550 点以上、TOEFL ペーパーベーステスト 500 点以上又はインターネットベーステスト６１点以上の実力を有すること。 ④ 発表論文等（学会発表を含む。）があること。 ⑤ 認定看護師の資格を有すること。

(2) 宮城大学大学院事業構想学研究所・食産業学研究所

区 分	対 象	換算方法等	換算方法等	備 考
出願資格(9) 大学に3年以上在学し (入学時まで在学見込み 含む。)、本学大学院にお いて、所定の単位を優秀な 成績で修得したと認めた方	4年制大学3年次 在学生及び過年度に おいて4年制大学在 学3年次を修了して いる方	① 大学2年次修了時点で、68単位以上 修得し、かつ、その評価について、最上位 であるものの割合が85%以上であるこ と ② 大学3年次修了時点で、卒業必要単位 として102単位以上修得又は修得見込 みであること ③ 過年度に大学3年次を修了している者 については、②に係る評価について、最上 位であるものの割合が、85%以上である こと	修得単位の成績につい て、評価が数値である場合 は、次の基準により判定す ることとする。 ①最上位評価 ・100点満点換算で80 点以上のもの ②修得単位として認めな いもの ・100点満点換算で6 0点に満たないもの	
出願資格(9) 外国において学校教育に おける15年の課程を修了 し、外国の学校が行う通信 教育における授業科目を日 本国内において履修するこ とにより当該外国における 15年の課程を修了し、又は 我が国において、外国の大 学の課程(その修了者が当 該外国の学校教育における 15年の課程を修了したと されるものに限る。)を有 するものとして当該外国の 学校教育制度において位置 付けられた教育施設であっ て、文部科学大臣が別に指 定するものの当該課程を修 了し(いずれも入学時まで に修了見込み含む。)、本 学大学院において、所定の 単位を優秀な成績で修得し たと認めた方	外国の学校教育制 度に基づく高等教育 機関(大学等)の教育 課程修了者又は外国 の学校が行う通信教 育を我が国で履修し た事による修了者 (いずれも入学時 まで修了見込みの者 を含む)で、当該教育課 程が15年の方	① 修了者については、高等教育機関 (大学等。通信教育による課程を含 む。)修了に必要な単位として修得した 単位の評価について、最上位であるもの の割合が85%以上であること ② 修了見込みの者については、14年の 課程修了時点で、高等教育機関(大学等 。通信教育による課程を含む。)を修了 するために必要な単位の80%以上を修 得し、かつその評価について最上位であ るものの割合が85%以上であること	修得単位の成績につい て、評価が数値である場合 は、次の基準により判定す ることとする。 ①最上位評価 ・100点満点換算で80 点以上のもの ②修得単位として認めな いもの ・100点満点換算で60 点に満たないもの	本区分において認定基 準を満たさない者について 、研究歴等の加算による出 願資格(10)での出願資 格認定を妨げない
出願資格(10) 本学大学院において、個 別の入学資格審査により、 大学を卒業した者と同等以 上の学力があると認めた者 で、入学時まで22歳に 達した方	学校教育法に定め る学士の学位を授与 されていない者(出願 資格(8)及び学士の 学位取得見込み者を 除く。)	① 16年から最終学歴までの修業年数(中 退の場合は、中退時の前年度に在籍した 学年までの修業年数とする。以下同じ。) を控除した年数を大学、短大、官公庁、研 究所又は民間企業等において、教育又は研 究部門で教育職又は研究職に従事した者 ② 大学等において、科目等履修生として 、修得した単位について、34単位ごと に大学在学1年と換算し、16年から最 終学歴までの修業年数を控除した年数を 当該換算年数で充足した者 ③ 有職者で在職中に各種教育機関にお ける研修歴がある場合は、研修時間15時 間を1単位として、34単位ごとに大学在学 1年と換算し、16年から最終学歴までの 修業年数を当該換算年数で充足した者 ④ 修業年限が4年以上であることその他 の文部科学大臣が定める基準を満たす専 修学校の専門課程を文部科学大臣が指定 する日以前に修了した者 ⑤ 実務経験・業績等をもって認定する者 については、個別に判断する	① 研究従事は大学及び短 大又は高等専門学校の専 攻科等における研究生を 含む。 ①～③ ・期間の計算は年単位と し、1年に満たない月数は 切り捨てるものとする。 ・16年から最終学歴まで の修業年数を控除した年 数の充足は、①～③の年数 の合算によるものを妨げ ない。	大学修了までの学校教 育における課程が16年 に満たない国において大 学の課程を修了した者の うち、中国の教育課程出 身者で期間が不足する場 合の不足期間は1年とす る。
	新旧学校制度の移行に際し、法令上明確に規定することの困難な旧制度の学校卒業生等	個別に判断する		本区分において認定基 準を満たさない者について 、研究歴等の加算による出 願資格(9)上段での出願 資格認定を妨げない。ただし、この場合において、法令上明確に規定できる旧制度の学校を最終学歴と見なす。
各出願資格共通事項	各区分ごとの認定 基準以外の経歴・業績 等を有する方	上記認定基準に加え、優れた業績、取得資格等がある場合は、個別に判断し、認定基準を緩和又は認定基準充足に換算することもあり得る。	認定基準緩和又は換算方法については、個別に判断する。	

【入学資格審査申請書類】

入学資格審査申請書		本学様式 A票
履歴書		本学様式 B票
自己申告書		本学様式 C票
業績一覧		本学様式 D票
入学資格認定 基準に係る証 明書類	成績証明書	
	卒業（見込）証明書	
	免許の写し	各資格免許のもの
	英検の合格証書又は TOEIC・TOEFL 結果	大学院看護学研究科の場合であって、出願資格（10） の審査基準③～⑤に該当する場合に提出
	発表論文等の写し	
	認定看護師認定証の写し	
戸籍抄本		証明書類の氏名が現在の氏名と異なる場合に提出

- ※ 入学資格審査申請を行う方は、上表の書類を取りそろえ、
【前期】平成31年1月30日（水）
【後期】平成31年6月17日（月）までに
 申請すること。
- ※ 入学資格審査申請に必要な本学様式 A～D 票については、本学ウェブサイト
 (<http://www.myu.ac.jp/>) からダウンロードすることができます。

平成31年度 宮城大学入学願書 [科目等履修生]

フリガナ				(写真貼付欄) 最近3か月以内に撮影したものを貼付すること	
志願者氏名			男 女		
生年月日	昭和・平成・西暦	年	月		日生
職 業					
最終学歴					
現住所	郵便番号 — 電話番号 () —				
連絡先	郵便番号 — 電話番号 () — E-mail アドレス @				
* 以下は外国人の志願者のみ記入すること					
国 籍		在留資格			
在留期間					

【事務局記載 ☐ 新規 ☐ 継続】

履修希望科目（希望する科目を別表より漏れなく転記するほか、学群分・大学院分いずれかの該当する区分を○で囲んでください。）

希 望 科 目	単位数	曜 日	時 限	担 当 教 員 氏 名
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				
学群分				
大学院分				

(注) 履修希望科目が5科目以上の場合は、この用紙をコピーして記入してください。

●科目等履修生入学者選拔手数料「振込金（兼手数料）受取書」貼付欄

平成31年度 宮城大学・宮城大学大学院 科目等履修生 入学選抜手数料振込依頼書

選抜手数料
納付

公立大学法人宮城大学

振込期間 【前期】平成31年2月12日(火)～2月22日(金)
【後期】平成31年7月16日(火)～7月26日(金)

<注意事項>

- 必ず下記振込依頼書によりお振込みください
- 振込手数料は、各自ご負担ください。
- ATM(現金自動受払機)は使用しないでください。

(問い合わせ先)

宮城大学事務局教務第1グループ 電話:022-377-8318

振込金(兼手数料)受取書

ご依頼日	平成	年	月	日
金額	9,800円			
先方銀行	七十七銀行 泉支店			
預金種目	普通	口座番号	9168281	
受取人	公立大学法人 宮城大学			
フリガナ				
氏名	様			
備考	※志望する学群又は研究科を記入してください。			
学群	研究科		手数料	円
上記の金額正に受取りました。			収入	
(取扱店)			銀行	店
			印	紙

(取扱店→ご依頼人)

振込依頼書(入学選抜手数料)

平成	年	月	日	電信	扱	手数料	円
七十七銀行 泉支店				金額	9,800円		
預金種目	普通	口座番号	9168281		現金		
受取人	公立大学法人 宮城大学		内訳				
フリガナ	宮城県黒川郡大和町学苑1番地1						
学群コード	8	2					
氏名	様						
(おとこ)	干						
(電話)	-						
ご依頼人				収納印または振替印			

太線の中だけご記入ください。

金融機関に置かれましては、「学群コード」と「フリガナ」を続けて打電されるようお願いします。(取扱店保管)

平成 3 1 年度 科目等履修生

身 上 調 書

フリガナ		生年月日	昭和 平成 年 月 日生 西暦
氏 名			
学 歴			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
職 歴			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
そ の 他			
年 月			
年 月			
年 月			

(注) 学歴欄は、中学校卒業からすべての入学、卒業を記入すること。

様式 3

平成 3 1 年度 科目等履修生

自 己 申 告 書

あなたが本科目を志願した理由等を志願者本人が自筆で記入してください。

希望科目名： _____ 氏 ^{フリガナ} 名 _____

平成 3 1 年度 科目等履修生

自 己 申 告 書

あなたが本科目を志願した理由等を志願者本人が自筆で記入してください。

希望科目名： _____ 氏 ^{フリガナ} 名 _____

(注) 希望科目が 3 科目以上の場合は、この票をコピーの上、記入、提出してください。

平成 3 1 年度 科目等履修生

承 諾 書

宮 城 大 学 長 殿

住 所

学 校 名

学 校 長

印

[大学担当部署]

下記学生が、宮城大学科目等履修生として貴校へ在学することを承諾します。

記

平成 年 月 日

住 所

志 願 者 氏 名

学 籍 番 号

平成31年度 科目等履修生 開講科目一覧表

※シラバスは本学ウェブサイト (<http://www.myu.ac.jp/>) からも見ることができます。

(「一般・地域の方へ」→「科目等履修生」→「学部」もしくは「大学院」→「シラバス」)

※ウェブサイトでの閲覧が難しい場合には、下記にお問い合わせください。電子メールかFAXで送付いたします。

宮城大学事務局 教務第1グループ TEL: 022-377-8318 E-mail: kyoumu1@myu.ac.jp

開講科目

前期：平成31年4月9日～平成31年8月6日

後期：平成31年9月25日～平成31年1月31日

◆大和キャンパス提供科目

(看護学群, 事業構想学群, 大学院看護学研究科(前期課程), 事業構想学研究科(前期課程))

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群(専門教育科目)							
4	看護学研究法	2	安齋由貴子 他	前期	火2	書類	演習あり。日程変更に対応できること。
2	老年看護援助論Ⅰ	2	渡邊章子 他	前期	木4	書類	グループ作業あり。参加できること。
4	救急・災害看護論	2	菅原よしえ 他	前期	月1	書類	心肺蘇生実習あり。必須のこと。 日程変更に対応できること。
4	緩和ケア論	2	菅原よしえ	前期	月2	書類	日程変更に対応できること。
3	精神看護援助論Ⅱ	2	大熊恵子 他	前期	木2	書類	精神疾患を有する人への看護に関するグループ作業あり。参加できること。
3	老年看護援助論Ⅱ	2	出見裕子 他	前期	金5	書類	グループ作業あり。参加できること。
3	母性看護援助論Ⅱ	2	塩野悦子 他	前期	木3	書類	
2	ライフステージ看護学概論Ⅱ	2	桑名佳代子 他	前期	金4	書類	
3	看護マネジメントⅠ	2	原玲子 他	前期	月3	書類	グループ作業あり。参加できること。
1	看護学原論	2	石原美和 他	前期	火2	書類	グループ作業あり。参加できること。
4	看護マネジメントⅡ	2	木村三香 他	前期	木1	書類	グループ作業に参加できること。日程変更に対応できること。
3	小児看護援助論Ⅱ	2	三上千佳子 他	前期	金3	書類	演習あり。日程変更に対応できること。
2	成人看護援助論Ⅰ	2	菅原よしえ	前期	木3	書類	
3	成人看護援助論Ⅲ	2	鈴木敦子 他	前期	月4	書類	グループ作業に参加できること。日程変更に対応できること。
3	地域看護援助論	2	桂晶子	前期	火3	書類	日程変更に対応できること。グループ作業あり。 地域看護学概論(後期開講科目)を履修済みであること。
3	公衆衛生看護援助論	2	桂晶子 他	前期	水2	書類	日程変更に対応できること。 地域看護学概論(後期開講科目)を履修済みであること。
4	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	佐々木久美子	前期	金1	書類	日程変更に対応できること。
3	保健医療福祉行政論	2	佐々木久美子	前期	月5	書類	日程変更に対応できること。
3	在宅看護援助論Ⅱ	2	志田淳子 他	前期	火2	書類	グループ作業あり。参加できること。 日程変更に対応できること。
3	リハビリテーション学	2	山田嘉明	前期	火5	書類	
2	看護情報学Ⅰ	1	萩原潤	前期	金1	書類	グループ作業あり。参加できること。
1	形態機能学Ⅰ	1	武田和久	前期	火5	書類	
1	形態機能学Ⅱ	1	風間逸郎	前期	木1	書類	
2	疾病論Ⅰ	1	風間逸郎	前期	水2	書類	
2	疾病論Ⅱ	1	風間逸郎	前期	火3	書類	
2	病態学	2	武田和久	前期	火1	書類	
2	保健行動科学	2	山田嘉明	前期	月1	書類	
1	人間発達学	2	山田嘉明	前期	水1	書類	日程変更に対応できること。
4	応用看護情報学	1	萩原潤 他	前期	水5	書類	
4	国際比較看護論	2	松永早苗	前期	水4	書類	
1	臨床心理学	2	山田嘉明	後期	月3	書類	
1	人間関係論	2	真覚健	後期	月4	書類	
1	形態機能学Ⅲ	1	武田和久	後期	木2	書類	
1	薬理学	2	武田和久 他	後期	火5・水1	書類	
1	公衆衛生学	2	萩原潤 他	後期	金3	書類	日程変更に対応できること。
2	疾病論Ⅲ	1	風間逸郎	後期	水5	書類	
4	代替療法	2	菅原よしえ 他	後期	火5	書類	日程変更に対応できること。
2	看護情報学Ⅱ	1	萩原潤 他	後期	木4	書類	当該年度の看護情報学Ⅰを履修していること
1	ライフステージ看護学概論Ⅰ	2	武田淳子 他	後期	木1	書類	日程変更に対応できること。
2	地域看護学概論	2	安齋由貴子	後期	火4	書類	グループ作業あり。参加できること。
2	家族看護論	2	塩野悦子 他	後期	月5	書類	グループ作業あり。参加できること。
2	治療看護論	2	鈴木敦子 他	後期	月4	書類	日程変更に対応できること。
2	母性看護援助論Ⅰ	2	桑名佳代子	後期	火2	書類	
2	小児看護援助論Ⅰ	2	武田淳子	後期	金4	書類	演習あり。日程変更に対応できること。
2	精神看護援助論Ⅰ	2	小松容子 他	後期	月3	書類	
1	災害活動論	2	高橋和子 他	後期	月5	書類	日程変更に対応できること。
2	疫学Ⅰ	2	萩原潤	後期	月2	書類	
2	在宅看護援助論Ⅰ	2	志田淳子 他	後期	金5	書類	日程変更に対応できること。
4	災害看護支援論	2	佐々木久美子	後期	集中	書類	集中講義、学外演習、日程変更に対応できること。
4	疫学Ⅱ	2	萩原潤	後期	火3	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
看護学群(教職に関する科目)							
2	教育心理学	2	真覚健	前期	金2	書類	
4	教育の方法	2	真覚健	前期	月3	書類	
2	教育学概論	2	山岸利次	前期	木5	書類	
3	教職論	2	山岸利次	前期	木1	書類	
2	教育内容論	2	山岸利次	後期	金2	書類	
2	相談心理学	2	真覚健	後期	火5	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
事業構想学群(専門教育科目)							
2前	地域政策概論	2	舟引敏明	前期	火4	書類	
2前	ビジネスモデル論	2	糟谷昌志	前期	火1	書類	
2前	ミクロ経済学	2	金子浩一	前期	木4	書類	
2前	地域調査法	2	藤澤由和	前期	木3	書類	
2前	データサイエンス	2	富樫敦	前期	金1	書類	
2前	応用統計処理	2	石内鉄平	前期	月5	書類	
3前	ゲーム理論	2	金子浩一	前期	火2	書類	
3前	地理情報分析	2	高橋信人	前期	木3	書類	
3前	多変量解析	2	徳永幸之 他	前期	月4	書類	
3前	販売促進	2	高山純人	前期	月3	書類	
3前	経営財務	2	田邊信之	前期	金3	書類	
3前	人的資源管理論	2	櫻木晃裕	前期	木4	書類	
3前	行政学	2	舟引敏明	前期	火2	書類	
3前	社会的共通資本	2	風見正三	前期	木5	書類	
3前	計量経済学	2	板明果	前期	火4	書類	
3前	民法	2	仲宗根卓	前期	月1	書類	
3前	公法	2	仲宗根卓	前期	月2	書類	
3前	災害の科学(水)	2	郷古雅春	前期	金2	書類	
3前	災害の科学(土)	2	千葉 克己	前期	月2	書類	
3前	材料学	2	北辻 政文 他	前期	火1	書類	
3前	建築計画	2	井上誠	前期	火4	書類	
3前	ユニバーサルデザイン	2	平岡善浩 他	前期	金4・5	書類	
2前	価値創造デザイン学基礎	2	平岡善浩 他	前期	金3	書類	
2前	情報と環境	2	蒔苗耕司	前期	木2	書類	
2前	色彩と形態	2	鹿野護	前期	金4	書類	
2前	応用情報処理(事業)	2	富樫敦	前期	月3	書類	
3前	構造と機能	2	土岐謙次 他	前期	金1	書類	
3前	インタフェースデザイン	2	鈴木優	前期	火3	書類	
3前	コンピュータグラフィクス	2	蒔苗耕司	前期	火2	書類	
3前	ウェブデザイン	2	鹿野護	前期	木1	書類	
3前	情報サービスデザイン I	2	富樫敦 他	前期	金2	書類	
3前	フィジカルコンピューティング	2	鈴木優	前期	金3	書類	
3前	音響・映像デザイン	2	茅原拓朗	前期	金4・5	書類	
3前	風土・伝統デザイン	2	土岐謙次 他	前期	火5	書類	
3前	グラフィックデザイン	2	日原広一 他	前期	木2	書類	
1後	事業構想学概論	2	徳永幸之 他	後期	火1	書類	
1後	地域活性化とビジネス	1	風見正三 他	後期	金1	書類	
1後	地域社会・産業とデザイン	1	蒔苗耕司	後期	金1	書類	
2後	法学概論	2	内田直仁	後期	金4	書類	
2後	経営学概論	2	福永晶彦	後期	水1	書類	
2後	マクロ経済学	2	糟谷昌志 他	後期	火3	書類	
2後	数理計画	2	徳永幸之	後期	月3	書類	
2後	経営戦略論	2	福永晶彦	後期	木1	書類	
3後	マーケティングリサーチ	2	高山純人	後期	火2	書類	
2後	会計学概論	2	内田直仁	後期	金3	書類	
2後	金融論	2	田邊信之	後期	木2	書類	
2後	経営組織論	2	櫻木晃裕	後期	木3	書類	
2後	地域資源論	2	佐々木秀之 他	後期	木5	書類	
2後	地域社会学	2	藤澤由和	後期	木4	書類	
2後	国土・地域計画	2	舟引敏明	後期	火5	書類	
2後	地域分析学	2	石内鉄平 他	後期	火2	書類	
3後	都市計画	2	舟引敏明	後期	火1	書類	
3後	地方自治	2	石田祐	後期	月3	書類	
3後	コミュニティ創造	2	風見正三	後期	木5	書類	
3後	交通計画	2	徳永幸之	後期	金2	書類	
3後	商法・会社法	2	仲宗根卓	後期	金3	書類	
3後	景観工学	2	舟引敏明	後期	火2	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
事業構想学群(専門教育科目)							
2後	建築史	2	平岡善浩	後期	火5	書類	
3後	地盤工学	2	千葉克己	後期	木4	書類	
2後	身体と認識	2	茅原拓朗	後期	火1	書類	
2後	伝統と文化	2	土岐謙次 他	後期	火2	書類	
2後	素材と加工	2	土岐謙次 他	後期	水1	書類	
2後	メディアプログラミング	2	鈴木優	後期	木4	書類	
2後	ウェブプログラミング	2	鹿野護	後期	月4	書類	
3後	エクスペリエンスデザイン	2	茅原拓朗 他	後期	金1	書類	
3後	情報サービスデザインⅡ	2	富樫敦 他	後期	火1	書類	
3後	空間情報コンピューティング	2	蒔苗耕司	後期	火5	書類	
3後	造形・プロダクトデザイン	2	土岐謙次	後期	金3	書類	
3後	感性デザイン評価法	2	茅原拓朗	後期	月5	書類	
3後	編集・広告デザイン	2	中田千彦	後期	木4	書類	
2後	生活環境デザイン概論	2	井上誠 他	後期	木5	書類	
3後	水理学	2	郷古雅春	後期	木3	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 看護学研究科(博士前期課程)							
1	基礎看護学特論Ⅰ	2	石原美和 他	前期	木3	書類	看護師免許を有し、基礎看護に関心のある方
1	看護管理学特論Ⅰ	2	原玲子 他	前期	火4	面接	看護師免許を有し、看護管理に関心のある方
1	がん病態生理学	2	武田和久 他	前期	月4	書類	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方
1	がん看護学特論Ⅰ	2	菅原よしえ 他	前期	木5	面接	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方 授業日程の変更に対応できる方
1	がん看護学特論Ⅱ	2	菅原よしえ 他	前期	月5	面接	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方 授業日程の変更に対応できる方
1	がん看護援助論Ⅰ	2	菅原よしえ 他	前期	月3	面接	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方 授業日程の変更に対応できる方
1	がん看護学演習Ⅰ	2	菅原よしえ	前期		面接	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方 授業日程の変更に対応できる方
2	がん看護学実習Ⅲ	3	菅原よしえ	前期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、専門看護師資格の 取得を目指す方
1	精神健康看護学特論	2	大熊恵子	前期	金2	面接	看護師免許を有し、精神保健看護に関心のある方
1	老年健康看護学特論Ⅰ	2	大塚真理子 他	前期	木5	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方
1	老年健康看護学特論Ⅱ	2	大塚真理子 他	前期	木2	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方
2	老年健康看護学実習Ⅱ	3	大塚真理子 他	前期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、専門看護師資格の 取得を目指す方。
2	老年健康看護学実習Ⅲ	3	大塚真理子 他	前期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、専門看護師資格の 取得を目指す方。前期・後期併せて受講できる方
1	母性健康看護学特論	2	桑名佳代子 他	前期	火2	面接	看護師免許を有し、母性看護もしくは助産に関心のある方
1	小児健康看護学特論	2	武田淳子	前期	火3	面接	看護師免許を有し、小児看護に関心のある方
1	地域健康看護学特論Ⅰ	2	安齋由貴子	前期	金4	面接	看護師免許もしくは保健師免許を有し、地域看護・公衆衛生看護 に関心のある方
1	在宅健康看護学特論Ⅰ	2	高橋和子	前期	月1	面接	看護師免許を有し、在宅看護に関心のある方
1	看護研究特論	2	高橋和子 他	前期	木4	面接	看護師免許を有し、講義日時の変更に対応できる方
1	コンサルテーション論	2	菅原よしえ 他	前期	月6	書類	講義日時の変更に対応できる方
1	看護教育学	2	安齋由貴子 他	前期	木6	面接	看護師免許を有し、看護教育に関心のある方
1	病態生理学	2	風間逸郎 他	前期	木2	書類	看護師免許を有し、講義日程の変更に対応できる方
1	フィジカルアセスメント	2	風間逸郎 他	前期	火6	書類	看護師免許を有し、講義日程の変更に対応できる方
1	臨床薬理学	2	武田和久他	前期	水5	面接	看護師免許を有し、臨床薬理に関心がある方
1	人間関係情報処理論	2	真覚健	前期	金4	書類	
1	疫学統計	2	萩原潤	前期	金3	書類	
1	統計学特論	2	山田嘉明	前期	火1	書類	全演習に参加できる方
1	基礎看護学特論Ⅱ	2	石原美和 他	後期	火4	書類	看護師免許を有し、基礎看護に関心のある方
1	看護管理学特論Ⅱ	2	原玲子 他	後期	月4	面接	看護師免許を有し、看護管理に関心のある方
1	がん看護援助論Ⅱ	2	菅原よしえ 他	後期	月1	面接	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方 授業日程の変更に対応できる方
1	がん看護学演習Ⅱ	2	菅原よしえ 他	後期	月1	面接	看護師免許を有し、がん看護に関心のある方 授業日程の変更に対応できる方
1	がん看護学実習Ⅰ	4	菅原よしえ	後期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、専門看護師資格の 取得を目指す方
1	がん看護学実習Ⅱ	3	菅原よしえ	後期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、専門看護師資格の 取得を目指す方
1	老年健康看護援助論Ⅰ	2	大塚真理子 他	後期	木4	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方
1	老年健康看護援助論Ⅱ	2	大塚真理子 他	後期	木5	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方
1	老年健康看護学演習Ⅰ	2	大塚真理子 他	後期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、老人専門看護師資格の 取得を目指す方
1	老年健康看護学演習Ⅱ	2	大塚真理子 他	後期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、老人専門看護師資格の 取得を目指す方
1	老年医療学	2	大塚真理子 他	後期	月6	面接	看護師免許を有し、老年看護に関心のある方
1	老年健康看護学実習Ⅰ	4	大塚真理子 他	後期		書類 面接	看護系大学大学院の修了生であり、かつ、老人専門看護師資格の 取得を目指す方
1	精神健康看護援助論	2	大熊恵子	後期	木3	面接	精神健康看護学特論を受講している方
1	母性健康看護援助論	2	塩野悦子 他	後期	火4	面接	看護師免許を有し、母性看護もしくは助産に関心のある方
1	小児健康看護援助論	2	武田淳子	後期	木2	面接	看護師免許を有し、小児看護に関心のある方 小児健康看護学特論を受講していること
1	地域健康看護学特論Ⅱ	2	桂晶子	後期	木6	面接	保健師免許を有し、地域看護・公衆衛生看護に関心のある方
1	在宅健康看護学特論Ⅱ	2	高橋和子	後期	火6	書類	在宅健康看護学特論Ⅰを受講しており、講義日時の変更に 対応できる方
1	保健行動科学特論	2	山田嘉明	後期	火3	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 事業構想学研究科(前期課程)							
1	マネジメント	2	櫻木晃裕	前期	木2	書類	
1	ファイナンス	2	田邊信之	前期	木3	書類	
1	医療福祉システム	2	糟谷昌志	前期	月5	書類	
1	地域交流ビジネス	2	佐々木秀之	前期	木4	書類	
1	地域経済ビジネス	2	板明果	前期	火2	書類	
1	コミュニティシステム	2	藤澤由和	前期	木5	書類	
1	文化環境デザイン	2	伊藤真市	前期	火4	書類	
1	環境情報デザイン	2	中田千彦	前期	火3	書類	
1	数理造形デザイン	2	土岐謙次	前期	火2	書類	
1	分散システム	2	富樫敦	前期	金4	書類	
1	情報メディアシステム	2	蒔苗耕司	前期	火1	書類	
1	設計プロセス・マネジメント	2	平岡善浩	前期	火5	書類	
1	ストラテジー	2	福永晶彦	後期	木4	書類	
1	非営利組織マネジメント	2	石田祐	後期	月5	書類	
1	税法	2	内田直仁	後期	木3	書類	
1	社会システム	2	徳永幸之	前期	月2	書類	
1	経済システム	2	金子浩一	後期	火2	書類	
1	コミュニティビジネス	2	風見正三	後期	木3	書類	
1	環境デザインマネジメント	2	日原広一	後期	月2	書類	
1	地区デザイン	2	舟引敏明	後期	火4	書類	
1	地域環境システム	2	石内鉄平	後期	火3	書類	
1	情報システム設計	2	須栗裕樹	後期	木1	書類	
1	数理環境デザイン	2	鹿野護	後期	木4	書類	
1	英語特論	2	MatthewWilson	後期	木2	書類	
1	ファシリティ・マネジメント	2	井上誠	後期	火5	書類	
1	インタラクションデザイン	2	茅原拓朗	後期	月3	書類	

◆太白キャンパス提供科目

(食産業学群，大学院食産業学研究科（前期課程）)

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
食産業学群(専門教育科目)							
2	有機化学	2	菰田 俊一	前期	月1又は火1	書類	
2	経済経営学基礎	2	川村 保 他	前期	月5	書類	
2	応用情報処理	2	原田 勉一郎 他	前期	火1又は火5	書類	
2	応用統計学	2	木村 和彦 他	前期	火4又は金4	書類	
2	食料生産概論	2	中村 聡 他	前期	木2	書類	
3	食品企業経営戦略論	2	三石 誠司	前期	月2	書類	
3	食料・農業・農村政策	2	森田 明	前期	木3	書類	
3	動物繁殖学	2	小林 仁	前期	月4	書類	
3	水資源利用学	2	郷古 雅春	前期	火1	書類	
3	植物性食料生産学Ⅱ(露地園芸)	2	菊地 郁 他	前期	火2	書類	
3	動物栄養・飼料学	2	井上 達志 他	前期	火2	書類	
3	フードシステム調査演習	1	谷口 菜子	前期	火2	書類	
3	植物病理学	2	中村 茂雄	前期	月3	書類	
3	植物遺伝育種学	2	日渡 祐二	前期	火4	書類	
3	生物生産環境学	2	原田 茂樹 他	前期	水1	書類	
3	分子生物学	2	森本 素子 他	前期	水2	書類	
3	栄養科学	2	白川 愛子	前期	木1	書類	
3	植物性食料生産学Ⅲ(施設園芸)	2	菊地 郁	前期	木2	書類	
3	動物遺伝育種学	2	須田 義人	前期	木2	書類	
3	ローカルフードシステム論	2	紺屋 直樹 他	前期	木2	書類	
3	動物性食料生産学Ⅱ(肉)	2	大竹 秀男	前期	月3	書類	
3	食品衛生学	2	菰田 俊一	前期	木4	書類	
3	水棲植物学	2	西川 正純 他	前期	金1	書類	
3	植物性食料生産学Ⅰ(食用作物)	2	中村 聡 他	前期	金2	書類	
3	動物性食料生産学Ⅰ(乳・卵)	2	井上 達志	前期	金2	書類	
3	食料経済論	2	川村 保	前期	金2	書類	
3	水棲動物学	2	西川 正純 他	前期	金3	書類	
3	動物発生工学	2	小林 仁	前期	金4	書類	
4	食品マーケティング戦略演習Ⅱ	1	都 世蘭 他	前期	月3	書類	
4	アグリビジネス論	2	紺屋 直樹	前期	火2	書類	
4	環境アセスメント論	2	原田 茂樹 他	前期	水2	書類	
4	食産業・政策史	2	森田 明	前期	木2	書類	
4	食品企業経営戦略演習Ⅱ	1	三石 誠司	前期	木4	書類	
4	企業倫理	2	三石 誠司 他	前期	金1	書類	
1	食産業学概論	2	井上 達志 他	後期	水2	書類	
2	水産食品学	2	西川 正純 他	後期	月1	書類	
2	環境科学	2	原田 茂樹 他	後期	月3	書類	
2	食品マーケティング論	2	都 世蘭 他	後期	火1	書類	
2	農産食品学	2	石川 伸一	後期	火3	書類	
2	食品化学	2	毛利 哲 他	後期	火4	書類	
2	動物生理学	2	森本 素子	後期	水1	書類	
2	食品企業経営論	2	三石 誠司 他	後期	水1	書類	
2	植物生理学	2	岩井 孝尚	後期	木2	書類	
2	畜産食品学	2	石川 伸一 他	後期	木2	書類	
2	生化学	2	金内 誠	後期	金1	書類	
2	微生物学	2	金内 誠 他	後期	金2	書類	
2	土壌肥料学	2	木村 和彦	後期	金3	書類	
2	動物衛生学	2	森本 素子	後期	金4	書類	
3	分子遺伝学	2	須田 義人 他	後期	月1	書類	
3	食品工学	2	庄子 真樹	後期	月1	書類	
3	食品機能開発学	2	西川 正純 他	後期	月2	書類	
3	付加価値動物性食料生産法	2	井上 達志	後期	月3	書類	
3	食品経済・政策論演習	1	森田 明 他	後期	月3	書類	
3	アグロテクノロジー	2	菊地 郁 他	後期	火2	書類	
3	付加価値植物性食料生産法	2	中村 茂雄 他	後期	火3	書類	
3	食品マーケティング演習	1	都 世蘭 他	後期	火3	書類	
3	食資源開発学	2	中村 聡 他	後期	火4	書類	
3	フードサービス産業論	2	堀田 宗徳	後期	火4	書類	
3	食産業政策論	2	作田 竜一	後期	水2	書類	
3	発酵食品・醸造学	2	金内 誠	後期	木1	書類	
3	循環型動物生産論	2	大竹 秀男	後期	木2	書類	
3	食品企業経営戦略演習	1	三石 誠司	後期	木2	書類	
3	食料生産経営学	2	川島 滋和	後期	木3	書類	
3	グローバルフードシステム論	2	森田 明 他	後期	木4	書類	
3	水産資源学	2	笠原 紳 他	後期	木5	書類	
3	水産利用学	2	西川 正純 他	後期	金1	書類	
3	食品の安全性管理	2	西川 正純	後期	金2	書類	
3	調理科学	2	石川 伸一	後期	金4	書類	

開講年次	科目名	単位数	担当教員	開講時期	時限	選考方法	履修条件
大学院 食産業学研究科(前期課程)							
1	食産業学研究特論	2	石川 伸一 他	前期		面接	
1・2	栄養学特論	2	白川 愛子	前期		面接	
1・2	農地環境工学特論	2	原田 鉦一郎 他	前期		面接	

開講曜日・時間帯については、宮城大学事務局教務第1グループ（022-377-8318）宛てお問合せください。

宮 城 大 学 http://www.myu.ac.jp/	
◆大和キャンパス 〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1 宮城大学事務局教務第1グループ TEL 022-377-8318	◎看護学群 看護学類 ◎事業構想学群 事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類 ○看護学研究科 ○事業構想学研究科
◆ 太白キャンパス 〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2-2-1	◎食産業学群 食資源開発学類 フードマネジメント学類 ○食産業学研究科